

《蘇州日本人学校教育目標》

未来に向かい 明るく 元気で 心豊かな子どもの育成

平成30年2月1日

【発行者】蘇州日本人学校
校長 中西太加夫

平成29年度「学校アンケート」について(結果報告)

初春の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、12月に実施した学校アンケートではご多用中にもかかわらずご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。たくさんの保護者の皆様からいただいたご意見やアンケート結果を真摯に受け止め、学校改善に努めます。以下に、アンケート結果を記すとともに、焦点化した学校課題についての具体的な取組をお知らせいたします。今後とも「信頼される学校」をめざして、全職員一丸となって教育活動の充実に努めますので、一層のご協力、ご支援をお願いいたします。

○ アンケート結果の分析と今後の改善策

各項目の質問と質問に対する保護者の回答のうち、「5：あてはまる（満足）」「4：ややあてはまる（やや満足）」を加えた割合（%）を表します。

【学校全般に関すること】

《項目》	《5と4の合計(%)》
1 学校は教育方針や重点的な取り組みをわかりやすく伝えている。	94
2 学校は子どもの様子が分かるような機会を適切に設けている。	95
3 学校は教育活動の様子をわかりやすく伝えている。	93
4 学校は保護者からの相談や問い合わせに丁寧に対応している。	89
5 学校は子どもの健康管理に努めている。	93
6 学校は子どもの安全確保に努めている。	94
7 学校は学校行事が充実している。	95
8 学校は子どもの体力向上に向けた工夫をしている。	87
9 学校は特色ある教育活動を行っている。	94
10 学校は子どもたちの言語活動の充実、読書環境の整備に努めている。	92
11 担任は家庭との連絡、連携をきめ細やかに行っている。	92

いずれの項目も高い評価をいただき、保護者が行事や授業参観等に積極的に参加してくださったり、各種通信やホームページ等で情報収集を積極的に行ったりするなど、保護者の学校教育への関心の高さがわかります。

今後も児童生徒の学校での様子や注意喚起など、保護者に役に立つ情報を積極的かつ丁寧に発信していきます。また、保護者が学校行事、学年行事に積極的に参加できるような環境づくりに努めます。また、家庭での親子の会話の時間を一層充実させていただきたいと思えます。

毎年課題になっている体力向上についての評価ですが、大気の状態を見ながらの朝ランの実施や朝ランができなかったときの縄跳びでの体力作り、昼休みの体育館開放等による取組を継続していきます。制約が多い蘇州での生活ですが、運動の機会をより多くもてるよう、工夫していきたいと考えています。



【学習に関すること】

《項目》	《5と4の合計(%)》
1 授業は学習内容がよくわかるように工夫されている。	91
2 学校はひとりひとりの子どもに応じたきめ細やかな指導をしている。	85
3 授業の中で活発な学びあい活動が行われている。	88
4 学校は体験的な学習活動を取り入れている。	95
5 学校は外国語学習（英語、中国語）の充実を図っている。	91

日々授業改善に取り組む教員の努力を、多くの保護者に理解いただき、うれしく思います。学校公開日のアンケートでも児童生徒が熱心に学習に取り組んでいる様子に対してお褒めの言葉をいただいております。児童生徒が意欲をもって学習に取り組めるよう、今後も授業や指導法の工夫改善を進めていきたいと思っております。保護者の皆様には積極的に学校に足を運んでいただいておりますが、学校公開日や授業参観の際には、児童生徒の学び合い活動やひとりひとりの児童生徒に応じたきめ細やかな指導の様子を見ていただけたらと思っております。

【児童生徒に関すること】

《項目》	《5と4の合計(%)》
1 お子さんは「学校は楽しい」と言っている。	95
2 お子さんはすすんであいさつする習慣が身についている。	79
3 お子さんはおうちの方に学校のことや友達のことを話している。	86
4 お子さんの友だち関係は良好である。	91
5 お子さんは運動会や学習発表会などの学校行事を楽しみにしている。	95
6 お子さんは「授業はわかりやすい」と言っている。	86
7 お子さんには家庭学習の習慣がついている。	86
8 お子さんは自分のことは自分でする習慣が身についている。	81

児童生徒の学校生活に対する満足度が高く、学校生活が充実している様子がうかがえます。児童生徒の人間関係が安定しており、学校行事を通して、一つの共通した目標に向かってみんなで努力することの素晴らしさを感じさせることができているようです。

児童生徒に「わかる実感」「できる実感」をもたせるための教員の様々な手立てと毎日の授業を大切にしている児童生徒の学習への姿勢とが相乗効果を上げているように感じます。学習は積み重ねです。うまく積み重ねられると学習をよい方向に進めていくことができます。しかし、学年や教科によっては、学習内容が格段に難しくなっており、わかりにくくなってくるのも事実です。今後も学習のねらいを明確にし、学び合いやわかりにくい内容の繰り返し指導などにより、「わかる」「できる」喜び・達成感を感じさせる指導、個に応じたきめ細やかな指導を心がけていきたいと思っております。

あいさつはまだまだ不十分な面があります。生徒会、児童会、委員会等によるあいさつ運動を毎朝行っていますが、今後も指導を継続していきたいと思っております。家族間でも「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「行ってきます」「ただいま」「おやすみ」など、声をかけあってください。

家庭学習の時間は、授業内容の定着を図るとともに、自主的な学習の習慣を身につけていく重要な機会です。宿題や課題を後回しにしていないか、ゲーム等の時間が増えていないかなど、家庭での時間の過ごし方について考え、家庭と学校が協力していく必要があると思っております。

【本校教育実践に対するご意見・ご質問等について】

(1) 学校生活、学習などに関して

①自送で登下校してるが、下校時のバイクの乗り入れに関して、児童生徒が一緒の時もスピードを出したまま入校される方や、出口に並んでいるときに乗車したまま後方から割り込みをされ、危険な事が多々あった。自送する保護者側の意識の問題とは承知しているが、学校からも電動バイクの乗り入れに関してご指導いただくと安全強化につながると思う。

→教頭が校門付近に立っていますので、注意喚起を強化していきたいと思っております。自送の登下校の方には、登校時はお子さんが学校の敷地に入ることを保護者が正門前で確認すること、下校時は保護者が学校の敷地内に入って、お子さんを連れて下校することについて、ご理解、ご協力をいただいております。下校時は迎えの方が校門付近に多くいらっしゃるの、安全な下校ができるように配慮していきたいと思っております。今後ともご協力をお願いいたします。

②日本語の本に触れる機会は限られているので、図書館の本の充実をはじめ、本に親しむ時間をより多く作ってほしい。

→蘇州日本人学校では、運営委員会の承認を得て、平成28年度より3年間で30万円の費用をかけて蔵書を増やす取組をしています。昨年12月20日付けのプリントでお知らせしたとおり、2年目の今年度は500冊以上の本を図書室に置くことができました。授業時間中に行う図書の時間については、今まで十分に確保できていなかった反省がありますので、朝読書の時間の充実はもちろん、新年度から図書館を児童生徒が積極的に利用し、本好き、読書好きの児童生徒がさらに増えるようにしていきたいと考えています。保護者の図書関係ボランティアの方々が、読み聞かせや環境整備等、様々な工夫をして児童生徒が読書に目を向けるように支えてくださっています。本当にありがとうございます。

③中国語教育の充実を図ってほしい。

→今年度は、中国の遊びや体操、歌、楽器演奏などを取り入れたり、現地校交流に向けた準備を行ったりして、中国語を様々な視点・方法で学んだり、学習したことを活用・表現したりすることを通して、児童生徒の意欲の向上と語学力の定着・向上につなげています。また、授業の際、日本人教員が巡回し、本当に困っている児童生徒には支援をしています。日本語の指示にたよって、児童生徒自身で考える機会を失わないように配慮しています。

中国語の力には入学時より差がありますので、レベルに合わせてクラス分けをすることや学習目的等については年度当初に文書でお知らせしています。今年度から期末テストにリスニングを取り入れており、中国語だより10月号でお知らせしたとおり、スピーキングテストもクラス分け基準に入れていきます。例えば、最上位の牡丹クラスは、ネイティブレベルの児童生徒がより高度な中国語を学ぶことができるよう、中国の雑誌やHSK問題を中心に取り組んでいます。日本語ができる本校の中国人講師（楊）が授業中の学習支援をしたり、昼休みの中国語タイムで質問を受け付けたりしていますので、その機会を積極的に活用させたいと思います。もしどうしても所属クラスを変えたいという希望がありましたら、お申し出いただければと思います。中国在住の利点を活かし、学習した中国語を身の回りの中国の方との会話に積極的に使うよう家庭での働きかけがあると、一層中国語力が高まるのではないかと思います。

④英語教育の充実を図ってほしい。

→低学年では、ゲームなどの活動を通して英語に「慣れる、親しむ、楽しむ」ことを学級集団の中で行うことを大きな目的としています。小学3年生以下については、レベル別のクラス分けが必要かどうか、また、それが可能かについて今後も検討してまいります。小学4年生からネイティブ講師による面接により、クラス分けを行っています。年度当初に文書でお知らせしているレベルクラス分けや学習目的等について、ぜひご確認ください。日本国内の小学校では、2020年度からの新学習指導要領の完全実施に向けて、来年度から英語教育の充実が始まります。蘇州日本人学校では、今までの英語教育のノウハウを活かし、専任のネイティブ講師による授業を中心にして、児童生徒の英語力の向上を図っていきたく思います。

⑤電子黒板と通常の黒板をうまく使い分けて、視覚的にもわかりやすい授業をしている印象です。中国ならではの授業や文化体験は子どもの知識欲を刺激していると感じます。保護者も拝聴できる講演会も楽しみです。学期ごとに1回は催してほしいです。

→電子黒板と書画カメラが各教室に備え付けてあり、授業での活用方法については校内研修を行い、効果的な指導を常に模索しています。iPadについても、視覚的にもわかりやすい授業活用への準備を進めています。また、小学3年生から総合的な学習の時間にコンピュータに関わる知識、技能、マナーについて学習しており、児童生徒も情報機器の取り扱いに慣れてきています。

今年度も外部講師に來校していただいて実施した中国文化等の学習の様子を多くの保護者に見ていただくことができました。しかし、今までのところ、大きな講演会を実施することができず大変申し訳ありません。夢をもって努力することの大切さを学ぶ講演会を実施したいと思います。

(2) その他に関して

①大気汚染がひどいときに、外遊びが禁止になっているようだが、その判断基準を教えてください。

→学校では大気汚染の状況把握のために複数のサイトをチェックしており、計測器を用いて、教室、体育館、グラウンドの3カ所を通常1日に2回ずつ実測しています。各サイトで高い値が出ている時や数値の割に大気が白く見えるときには、計測器を用いて随時確認をしています。さらに、現在の空気の汚れ具合と今後の見通しを考慮して屋外活動を中止するなどの判断していますので、サイトの数値が低くても数値が上昇傾向にあれば屋外活動を中止することがあります。児童生徒の健康を第一に考え、かつ運動機会の確保のため、実測値も含めて判断している状況をご理解いただければと思います。



②家庭では運動する機会を十分にとれないので、学校で運動量を増やす取り組みをしてほしい。

→今年度から、空気が悪いときや雨のときなど、朝ランができないときに、みらいホールや体育館で縄跳びや長縄をするようにして、朝の運動の時間を確保しました。また、小学部ではかけ足大会前に週2回朝ランを実施して運動量を増やすようにしました。日常的にもかけ足大会においても、限られた時間を有効に活用するために、児童生徒にしっかり目標をもたせ、最後まで自分の力が発揮できるように指導しています。朝読書による読書時間の確保との兼ね合いから、朝ランの回数を増やしていくことが難しいと考えており、内容の充実が一層図れるよう工夫していきたいと思えます。1, 2年生については、休み時間のたびに中庭を走り回ったり、校庭でボール遊びをしたりする姿をよく見かけます。また、小学部では各学年とも昼休みに担任が校庭に出て、児童生徒と共に運動をするなど、運動量を増やす取組をすすめています。小学部ではドッジボール大会も開催しており、仲間と共に楽しく運動量が増えるように工夫しています。

部活動についても、時間や回数の見直しを求める声を多く聞きます。運動量や運動能力を伸ばす観点からその内容や時間について以前より検討をすすめています。海外の学校であるという特性から時間的な制約を受けざるを得ません。現状では、朝ランと同様、実施内容の充実を図っているところです。

③スクールカウンセラーの導入を検討したらいかがか。担任から指摘された問題について疑問を感じた場合や担任には話しにくいことを第三者の専門家に相談できるとありがたい。定期的に相談日が設けられて、気軽に悩みを相談できると問題を抱え込まずに深刻化を防げるのかなと思いました。海外生活で、相談できる親などの身近な存在がないので、カウンセラーに相談できたら心強いです。

→日本人学校では、日本国内のようにスクールカウンセラーを配置する体制がまだできていません。代わりに教育相談担当の養護教諭がご相談を受け付けています。詳しくは保健だよりに掲載していますのでご参照ください。不安なことは抱え込まず、ぜひご相談ください。校長、教頭も相談を受け付けています。

④学習発表会のDVDを販売してほしい。

→DVDの制作業者があるか調査し、販売金額、購入希望者数を事前に確認した上で、話を進めていきたいと思えます。

⑤運動会や学習発表会を見ましたが、子どもたちはとても団結していて、目頭が熱くなる場面がいくつもありました。ここまで子どもたちのやる気を出させている先生方に感謝します。子どもも学校生活の中で特に大きな問題もなく、楽しく過ごせていることは先生方のご指導のおかげと思っています。今後とも、蘇州日本人学校の特色ある教育を続けていただきたいと思えます。

→日常の学習活動をはじめ、運動会、学習発表会において、子どもたちにはより高い課題を設定させ、その課題を乗り越えていけるよう支援しています。課題を達成することで、児童生徒にできた喜びを味わわせ、自信を深めさせたいと考えています。課題を乗り越えようとする児童生徒の姿勢が前向きなので、教員の指導と相まってよい結果を生み出すことができている。このことは、保護者の方の支えがあつてこそと考えています。

【今後の取組について】

今年度の成果と課題を踏まえ、来年度の新しい教育計画づくりを進めていきます。皆様からお寄せいただいたアンケート結果やご意見、ご要望を真摯に受け止め、よりよい教育活動を実現するための参考として活用させていただきます。また、本校の取組に対し、温かいお言葉も多数いただきました。そのことを大きな励みとして、今後も努力を重ねていきます。新年度の取組については、4月最初の参観日懇談会などで、説明させていただく予定です。学校アンケートや学校公開日等の機会にご意見・ご質問などお出しただければ幸いです。

「蘇州日本人学校の教育に関するアンケート」へのご協力、ありがとうございました。

